

毎日新聞をご愛読いただきありがとうございます



とうぶ
まいにち

6月11日(日)は新聞製作が休みのため

12日(月)の朝刊は

休ませていただきます

6月11日(日曜日)
2023年(令和5年)

発行元
埼玉中部毎日会第3支部
発行所
埼玉県越谷市宮前1-5-19
(毎日新聞越谷東部販売所内)
TEL 048-967-4515
FAX 048-967-4516
編集長 飯嶋英好
発行部数 50,000部
発行エリア
三郷市・草加市・八潮市
吉川市・越谷市・松伏町

毎日小学生新聞 スポニチ も休ませていただきます

なお、スポニチは主要駅の売店などで販売しています

★ニュース速報は、毎日新聞のニュースサイトでご覧いただけます
URL: <https://mainichi.jp/>

6月12日のテレビ・ラジオ番組欄は11日の朝刊に掲載します

毎日新聞社・毎日新聞販売所

次号7月は
9日(日)
発行予定

傘寿記念
Nishimura Torajiro Exhibition

中島虎威展

絢爛と清新

— 日本画であるために

2023. 6. 3 [SAT] → 7. 30 [SUN]

森の美術館

10:00~16:00(最終入館15:30)
大人600円/中高生300円/小学生以下無料
月・火曜日休館
☎04-7136-2207

【会場】つくば市 つくば美術館

日本画であるために
中島虎威展
~7月30日 森の美術館

流山市大群・森の美術館で日本画家、中島虎威展を開催している=写真左。

80歳を迎え、絢爛と清新に輝く35点の作品を展示。大人600円、中高生300円。月・火休館。電話04・7136・2207

演劇を楽しむ会れんげ草
ハジマリノウタ

6月23日14時開演

吉川市老人福祉センターで6月23日、演劇を楽しむ会れんげ草の公演がある=写真右。開演は14時。テーマは「空き家問題」。誰も住まなくなった生家の管理を70代の兄妹が押し付け合うコメディ。入場は無料。

第6回公演
演劇を楽しむ会れんげ草

ハジマリノウタ

誰も住まなくなった生家の管理をめぐって押し付けあう70代の兄妹たちが過去に縛られず明るく楽しく生きる道を探るハートフルコメディ

脚本 三木江美紀 / 演出・指導 多田美紀

2023年6月24日(土) 14:00開演 (開場30分前)

会場: 老人福祉センターばれっと

(鑑賞料無料・先着順)
施設使用料として60歳未満100円・市外の方150円がかかります
マスク着用にご協力ください / 連絡先: 080-5031-3465(牛田)

吉川市大字吉川964

後援: 吉川市・吉川市教育委員会

L&C Life & Company Assist

税のよろず相談所です

税理士法人
L&Cアシスト

草加市住吉1-4-12-101

☎ 048(924)9244

EneCle エネクル

エネルギーで、快適な未来をつくる

堀川産業株式会社

本社 〒340-0014 草加市住吉1-13-10
<https://www.horikawasangyo.co.jp>

「クルン」

ガス、でんき、灯油、リフォーム、暮らしのご相談はエネクルまで!

晴れ渡った空の上空にはトビが大きな輪を描き二羽が競って上にと昇って行く。「そこから東京が見えるかい」と歌いたくなるような光景だ。

消え失せていないコロナへの注意を払いながらも日常の生活に戻ってきたように思う。四月から五月の連休はシバザクラの花見客であふれ、点在するキャンプ場はいっぱい。

新緑の里山はハイカーの明るい声で包まれ秩父の山や宝登山神社(長瀬町)、秩父神社(秩父市)、三峯神社(同)の秩父三社の神々は微笑んでおられることだろう。

ふらり秩父路
初夏の風物詩アユ釣り

2023・06・11

秩父は荒川本流のほか浦山川、横瀬川などの支流に溪流釣り場が点在するが、今はアユ釣りが主流。秩父漁業組合は今年、全国で最も早いと言われる四月二十九日にアユ釣りを解禁した。



荒川上流でアユ釣りの長竿が並ぶ

連日、アユ釣りファンが十メートルはあるだろう長い竿を手に「アユ釣り」を楽しむ。アユが掛かると竿は大きくしなり釣り人は慎重に手編みに取り込む。

初夏の風物詩のアユ釣りは秩父路ではゴールデンウィークに季節変わりするのか。

盆地の田植えも始まった。秩父市を生活圏にする横瀬町には県内最大級と言われる「寺坂棚田」がある。広さ約五・四ヘクタールで約二百五十面の田が広がる。二十一日には一部で田植えが行われ、秋の収穫を待つ。

棚田の田植えが終わると秩父路に夏が訪れる。

岡崎 ひろし
(元毎日新聞記者・秩父ネイチャークラブ役員)



企業版ふるさと納税で300万円を寄贈した梁川哲社長(左)

三郷市企業版ふるさと納税
300万円を寄付
新和環境株式会社

産業廃棄物処理会社「新和環境」(本社・東京)が企業版ふるさと納税制度を利用して、三郷市に300万円を寄付することになり、4月28日、梁川哲代表取締役(48)から木津雅晟市長=写真右=に目録が手渡された。

同社の主な業務は、首都圏から出る建設廃材の処理や資源化。千葉リサイクルセンターや埼玉リサイクルセンター(吉川市)へ運搬する際に三郷市内を通過することなどから、感謝の趣旨を込めて今回の寄付となった。

土屋品子氏講演
吉川市

自民党の土屋品子衆院議員(71)が吉川・松伏倫理法人会の招きで5月13日、「我が国の食育について」をテーマに講演した=写真左。吉川市と松伏町が春日部市・さいたま市岩槻区とともに新区割りの第16区となることから、会場の吉川市高富集会場は早朝6時にもかかわらず、約60人が詰めかけ立ち見の聴衆も出る盛況ぶり。

鈴木勝・松伏町長、蓮見昭一・元県議らも参加。株式会社「山重」社長の杉山博会長は「これほどの盛会は今回が初めて」と話した。



水道業者を対象に説明会

5月13日 綾瀬川水系浄化運動委員会

草加市の市民団体「綾瀬川水系浄化運動委」(卯原義夫会長)は一般社団法人化を前に5月13日、水道業者を招き説明会を開いた。計画案は、神明排水場の浄水場化や災害時に備えた同川沿いの蛇口設置等を予定。



(左から)小林秀樹さん(小林設備)▽渡辺勝さん(井戸梅)▽矢部正平市議▽秋元安紀・元県議▽卯原義夫会長▽大久保和敏・元市議▽安部勝雄さん(竹内セントラル)

総合建設業 新築工事 リフォーム 土木工事全般

池中建設株式会社

越谷市東越谷7-141 ☎048-964-3611
http://www.ikenakakensetsu.co.jp

ISO9001(品質)/ISO 14001(環境)認証取得
明日の夢を創る

高元建設株式会社
代表取締役 高橋和彦

〒343-0811 埼玉県越谷市御殿町2番11号 TEL048-966-1661(代)
FAX048-962-1661 ホムページ http://www.takamoto-cnst.co.jp/

田舎暮らしNOW

2023・6・11

施設は2階建て半円形の建物。館内には4つの部屋で仕切られていて、来館者はまず1階のゾーンに設置された、床面プロジェクトマップを見詰める。地上に降り注いだ雨水が地面に染み込んで、温泉水になるまでの約50年の旅が3Dで映し出されるのだが、目と頭がクラクラして、少し気持ちが悪くなる。ちなみに、この地に降り注

地獄めぐりで知られる別府八湯の一つ、鉄輪(かんなわ)温泉エリアに昨年12月、「地獄温泉ミュージアム」という民間施設がオープン。ここで天から降った雨が、温泉水になるまでの地中の旅を、来場者自身が追体験できるといっているので、入館料大人1500円を払って見てきた。

「地獄温泉ミュージアム」

次に入るゾーンが、複雑な地層を雨水が浸透しながら、様々な温泉成分と融合していく世界を表現した空間。薄暗く入り組んだ迷路は、レースや鏡で装飾されていて、ここで入館時に手渡されたポストカードを利用する。

昨年12月にオープンした別府鉄輪「地獄温泉ミュージアム」入り口



鈴木 源柱(専業主夫・フリーライター)

建物2階部分は、浴場の中にあるようなデザインのアターと企画展示コーナーに分かれていて、鉄輪の地獄文化や別府温泉郷の歴史などを紹介。入館から出るまで40分ほどで終わるのだが、はっきり言って一度見れば十分。一見の観光客を対象にした施設なのは、言うまでもない。

そして薄暗いゾーンを出た部屋で、カードを差し込む台が複数設置されている中の一つに差し込むと、来場者が50年かけて雨水がどのような種類の温泉、つまり硫酸泉なのか含鉄泉、あるいは炭酸水素塩泉になったのかを知ることができるといって仕掛け。カラクリは、差し込む台によって、押し込んだスタンプの一部が浮き出すので、台を替えて差し込めば、また違った種類の温泉水になるのかもしれない。

スタンプは12色あって、台ごとに違うのだが、好きなだけポストカードに押し付けば、自分なりの湯けむりの街、鉄輪温泉の風景が完成する。

4年ぶりの通常開催 第37回 南越谷阿波踊り

8月26日(土)・27日(日)

夏の風物詩、南越谷阿波踊りが4年ぶりに戻ってくる。同踊り実行委と同振興会は5月17日、日本三大阿波踊りのひとつである第37回南越谷阿波踊りを8月26日(土)、27日(日)の日程=8月25日(金)は前夜祭=で行うと発表した。

南越谷阿波踊りは、本場徳島、高円寺に次ぐ規模を誇る。コロナ禍前は踊り手が地元越谷を中心に約80連、6500人ほどにのぼり、会場周辺には延べ70万人の見物客が詰め

かける盛況さ。

開催概要は-

【8月25日】前夜祭=19時~21時、越谷コミセン大ホール及びコミセン前ショッピング広場。

【8月26日及び27日】流し踊り=17時10分~21時、南越谷中央通り演舞場ほか4会場▽舞台踊り=14時~20時45分、コミセン大ホール及び小ホール▽組踊り=16時20分~20時45分、コミセン前ショッピング広場:17時10分~20時45分、駅前組踊会場(東口ロータリー)。



世界一のジェラートから地域密着の伝統アイスまでの世界100種類に及ぶ「アイスクリーム博覧会2023」が4月29日~5月9日の11日間、越谷市のイオンレイクタウンmorri噴水広場であった=写真上。

今年で11回目の開催。多様性ある幅広いジャンルのアイスクリームが「見て 食べて 学べる」とあって、イオンレイクタウンの人気博覧会として定着。子どもの日を中心に連日、大変な盛況ぶりだった。

出店舗は、パリパリクレープ北海道メロンを登場させた「サンタチューボー」▽トルコアイス「岐阜川辺アイスクリーム牧場」▽イタリアンジェラート「石川県・マルガージェラート」など。

アイスクリーム博覧会2023 イオンレイクタウンmorri開催

本郷屋斎場
草加市市民福祉葬(市民限定) 実質0円
別館1日葬(ワンデー) 家族葬 29.9万円(税込)
本館1日葬(ワンデー) 家族葬 49.9万円(税込)



きれいな街づくり
エスシーエス株式会社
代表取締役社長 野崎 友義



埼玉県草加市青柳2-19-10
TEL 048-936-1234
FAX 048-936-3344
URL <http://www.scs-kk.co.jp/>



スライドア車



食品リサイクル車



一般貨物収集運搬車

子どももらに大人気! オリジナルの紙芝居ライブ

草加市在住 紙芝居屋benben

「カチツ カチツ」。新緑の林を拍子木の音が響く。遊具で遊んでいた子どもや幼児連れの母親らが集まる。常連を含めおよそ30人。「あらア また背が伸びたね」。声をかけるのは、2年前から草加市内を中心に紙芝居ライブを演じる「紙芝居屋 benben」さん(本名・武田美岐さん)。戦後懐かしい紙芝居とやや趣を変え、音楽やデジタルなどを導入、IT時代の子ども向けに工夫している。



熱演する紙芝居屋benbenさん

benben(べんべん)さんの「舞台」は、地区の集会所や公園。事前に管理者側の許可をえ、荷台に紙芝居の七つ道具を載せた電動付き自転車で駆けつける。

「準備ができました。紙芝居が始まるよ」。

連休明けのそうか公園(柿木町)にある遊具広場。ブルーの帽子、つなぎのジーパン姿のbenbenさんが声を張り上げる。

benbenさんのモットーは、おじさんが一方的にしゃべる昭和の紙芝居と異なり、子どもや母親と交流しながらの「双方向の紙芝居」を目指す。

出し物は、およそ

70種類。ストーリーも絵も、すべてbenbenさんの自作という。

作品はいずれも子どもが興味を引く内容となっており、2児を育てる現役ママのbenbenさんらしい。

例えば、「100円レンジャー」▽「sexyにんじん」▽「ものしり父ちゃん」とぼくときどきやさい▽「クイズ」や「神経衰弱」…など。

紙芝居を長男(1)、長女(3)と一緒に楽しんだ主婦、大字遙さん(30)は、「大変おもしろい。手作りの絵もうまいし。これか子ども連れで通いたい」と話す。

また、母親(35)や5歳、3歳の弟と参加した小2の篠宮杏佳さん(8)は「クイズを当て景品をもらった。楽しいです」とこっぴり。

東京荒川区生まれのbenbenさんが幼稚園教諭だった23歳のとき、父親が急死した。余りの突然さに

「『人は死ぬんだ』とすぐ落ち込んだ」という。

そんなとき、パントマイムで人の心を和ませるクラウン(道化師)のコメディにふれ、「よし、何かパフォーマンスになろう」と決意したという。

子育て中だったが、二代目紙芝居屋の三橋とらさんが主宰するサークルに入部、5年間紙芝居のイロハを学んだ。

「3D紙芝居屋」と自称するbenbenさん。iPadで絵を描き、音楽を編集。現場では紙芝居を演じながら、iPadからBGMを流し、ストーリーを盛り上げる。

ときには、自らも「ハゲかつら」をかぶったり、おばあちゃんに扮装したりも。

「これまでの紙芝居

の枠にとらわれたい。全力で何かを届けたいのです。子ども居場所、とりわけ孤立した子どもの支援にもなれば…」

benbenさんの紙芝居ライブの日程は、毎週金曜日午後4時から。場所は第1週▽青柳東公園▽第2週▽そうか公園▽第3週▽青柳公園▽第4週▽青柳4丁目ふれあい公園(雨天時は中止)。

一方、電気設備会社を経営する夫の甫さん(40)も社内イベント事業部を立ち上げ、benbenさんの活動に賛同、会社を挙げて支援している。

benbenさんの連絡先⇒bened.benben@gmail.com 電話080・5187・4975。

新築工事 リフォーム一般

(有)飯島工務店

代表 飯島輝男

〒342-0015 埼玉県吉川市中井三二五
Tel 048-982-2409 fax 048-982-2404

また、benbenさんに師事する吉川市の主婦、竹澤紗己さん(41)が吉川市で紙芝居を広めたいと日夜研鑽を重ねる。紙芝居の輪が広がるのが楽しみだ。



シモツケ

あとかぎ

郵便物は必ず届くものと思ってきました。幼いころからそう思ってきた。裏切られることもなかった。

が、その信頼が揺らぎかねない。事件

が相次ぐ。一つは、自治体が発送する新型コロナウイルスワクチン接種券。筆者の場合、6回分のうち、2回分は自宅に届かなかった。二つは、筆者が住む越谷

市から埼玉県内の他市に住む友人に宛てた普通郵便。金曜午前に郵便局窓口に出した封筒が、配達されたのが翌週水曜日の午後。週末を含むとはいえ、所要6日間はず過ぎる。

郵便制度は152年前の明治4年(1871)に発足した。以来、雨の日も風の日も郵便物を届けるポストマンに感謝の念しかない。杞憂であることを願って…。

編集長 飯嶋英好

創業昭和三年 株式会社 珍来 総本店

中華麺製造卸と中華料理店の展開 関東一円で愛され続けて九十年!

事務所: 〒340-0801 埼玉県八潮市八條 1512-1
TEL: 048-997-3726
URL: http://www.chinrai.co.jp